

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)						
事業名	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業		担当部局	研究振興局	作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	研究振興戦略官 大月 光康			
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術イノベーション創出の活性化に関する法律第27条の2 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法第17条の2第2項 革新的研究開発推進基金設置規程 規定第8号 		関係する 計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) 健康・医療戦略(令和2年3月27日第2期閣議決定) 医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日第2期健康・医療戦略推進本部決定) ワクチン開発・生産体制強化戦略(令和3年6月1日閣議決定) 				
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費				
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	本事業では、ワクチン開発・生産体制の構築に基礎研究の側面から貢献するため、世界最先端の研究者が集う魅力的な研究環境を形成し、平時からワクチン開発に関して、社会課題の解決と出口戦略を見据えたアカデミア・産業界・臨床現場との協働体制や、感染症有事の迅速な対応を見据えた研究推進体制を構築し、将来起こりうるパンデミックに対しても迅速な対応が可能な研究開発及び体制構築を推進する。							
現状・課題 (5行程度以内)	令和4年3月より公募を開始し、8月にフラッグシップ拠点、シナジー拠点、サポート機関の採択を決定し、10月より拠点形成及びワクチンの研究開発を開始している。今後は、アカデミアシーズの実現化に向けた産学官連携コンソーシアムの構築や、拠点・サポート機関間の協力・連携体制をより強化するため秘密保持契約書等の協定締結に向けた機関間での調整が必要。							
事業概要 (5行程度以内)	「ワクチン開発・生産体制強化戦略」を踏まえ、国産ワクチン等の実現に向け、世界トップレベル研究開発拠点(フラッグシップ拠点、シナジー効果が期待できる拠点)や研究開発をサポートする機関の整備等を行うとともに、平時から同研究拠点を中心として、出口を見据えた関連研究を強化・推進する。また、将来起こりうるパンデミックに対しても迅速な対応が可能な研究開発及び体制構築を推進するとともに、ワクチン開発・生産能力の向上につなげるための革新性の高い技術の開発や、企業や「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業」に導出することなどを旨とする。							
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/21/02/002.html							
実施方法	補助							
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施するワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	51,500	-	-	-	50
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	51,500	-	-	-	50
		執行額(G)	-	51,500	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	100%	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	100%	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	研究開発推進費			重要政策推進枠 50百万円			
	(目)	革新的研究開発推進基金補助金		50				
		その他	-	0				
	計(A)	-	50					

活動内容① (アクティビティ)	感染症有事に備え平時において最先端の研究の中核的機能を発揮すべく、これまでにない世界トップレベルの研究開発のフラッグシップ拠点と、同拠点とシナジー効果が期待できる特徴的な拠点(以下「シナジー拠点」という。)を形成し、我が国として備えるべき研究力・機能をオールジャパンで整備・強化する。																											
↓																												
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 ワクチン開発の基礎研究を担う世界最先端の拠点に関する体制構築(人員体制の構築、機器・設備の整備、拠点の独立性・自律性の確保)。	活動指標 フラッグシップ拠点、シナジー拠点、サポート機関の選定及び形成の進捗状況。	<table border="1"> <tr> <td>活動実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	活動実績	-	-	-	-	-	-	当初見込み	-	-	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込					
活動実績	-	-	-	-	-	-																						
当初見込み	-	-	-	-	-	-																						
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ワクチン開発の基礎研究を担う世界最先端の拠点を新たに構築するにあたっては、国内外・産学の研究者を糾合する必要があるため。																										
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 ワクチン研究開発に係る優れた国内外の最先端の研究者や企業出身の研究者が招へいされる(外国籍の研究者と企業出身の研究者を合わせて2割以上)。	定量的な成果指標 フラッグシップ拠点、シナジー拠点の研究開発分担者における外国籍もしくは企業出身の研究者の割合	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>32.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>163.5</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	%	-	-	32.7	-	目標値	%	-	-	20	20	達成度	%	-	-	163.5	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
成果実績	%	-	-	32.7	-																							
目標値	%	-	-	20	20																							
達成度	%	-	-	163.5	-																							
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	AMED調査																											
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	感染症研究の学問分野としての層の薄さという課題があるなか、世界のトップレベル研究者を惹きつけ、ワクチン等の最先端の研究開発を行う拠点を形成するため。																										
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標 本事業の主要研究者における外国籍研究者の割合が、事業5年度目に3割以上となるよう増加。	定量的な成果指標 本事業の主要研究者における外国籍研究者の割合	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>27.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>26</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>105.8</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	%	-	-	27.5	-	目標値	%	-	-	26	28	達成度	%	-	-	105.8	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
成果実績	%	-	-	27.5	-																							
目標値	%	-	-	26	28																							
達成度	%	-	-	105.8	-																							
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	AMED調査																											
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	世界トップレベルの研究者が、平時からワクチン等の最先端の研究開発を長期継続的に行うトップレベル研究開発拠点を形成することにより、感染症有事の際に当該拠点において迅速なワクチン開発を可能とする体制を構築するため。																										
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 研究開発拠点の整備により平時からのワクチン分野において卓越した研究力を保有し、世界トップレベルの研究成果を創出するとともに、感染症有事が起きた場合に、SCARDAの指示を受け、必要に対応を実施できる。	定量的な成果指標 フラッグシップ拠点、シナジー拠点、サポート機関の形成の進捗状況(感染症有事の際に当該拠点において迅速なワクチン開発が可能となる体制を構築できているか) (定性的な指標)	<table border="1"> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度		
成果実績	-	-	-	-	-																							
目標値	-	-	-	-	-																							
達成度	%	-	-	-	-																							
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	AMED調査																											
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																											
	感染症有事には様々な異なる状況が想定されるなか、各研究開発拠点は、それぞれの拠点における特徴や役割なども踏まえた拠点形成をしていく必要があるとともに、有事の際のSCARDAを中心にした円滑な連携などが求められるアウトカムであり、定量的な指標の設定が困難であるため。																											
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																											

活動内容② (アクティビティ)		ワクチンや治療薬等の研究シーズを実用化に結び付けるため、出口を見据えたアカデミア・産業界・臨床現場との切れ目のない協働体制を確保することに加え、緊急時の迅速な対応を見据えた研究推進体制を構築する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		産官学・臨床現場が連携した研究開発の推進体制の整備(各拠点における企業や臨床研究中核病院等との連携体制構築、産官学連携コンソーシアムの形成等)	産学官連携コンソーシアムの設置状況、研究成果の創出、及び感染症有事の際の体制整備	活動実績	-	-	-	-	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		平時からトップレベル拠点を中心に、出口を見据えた関連研究を強化推進するにあたり、産業界との連携を強化し、得られた研究成果をシーズの開発、実用化まで効率的につなげる基盤・環境の整備が必要であるため。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		産学官連携コンソーシアムの導出	産学官連携コンソーシアムの設置数	成果実績	件	-	-	0	-	
				目標値	件	-	-	0	1	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		産学官連携コンソーシアムの役割(企業のニーズとマッチング体制の構築や非競争領域における研究開発の推進)を果たすにあたり、一定の参加機関数が必要になるため。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		産学官連携コンソーシアムの参加機関の獲得及び同コンソーシアムを通じた成果の導出。	産学官連携コンソーシアムの参加機関数	成果実績	機関	-	-	0	-	
				目標値	機関	-	-	0	10	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
↓		成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		産学官連携コンソーシアムの成果を確認するにあたり、産業界との連携の成果の導出(企業への実施許諾と権利譲渡、企業との共同研究)を確認する必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度	
		拠点において開発したシーズの「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業」等への成果の導出。	拠点において開発したシーズの「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業」での採択件数	成果実績	件	-	-	0	-	
				目標値	件	-	-	0	3	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		AMED調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

※令和4年度実績を記入。

文部科学省

ワクチン開発のための世界トップレベル
研究開発拠点の形成事業経費を日本医
療研究開発機構 (AMED) に補助

【補助】
令和3年度 51,500百万円

A. 国立研究開発法人
日本医療研究開発機構

【収入】	【支出】(契約額)
補助: 0百万円	事業費: 3,996百万円
運用収入: 1百万円	管理費: 51百万円
合計: 1百万円	合計: 4,047百万円

※当該事業に従事する機構内職員の人件費及び物品

【委託】

B. 大学、研究機関等

研究費 3,996百万円

国立研究開発法人日本医療研究開発機構より委託を受け、研
究者、民間事業者等が国産ワクチン等の実現に向けて、世界
トップレベル研究開発拠点の形成やワクチン研究開発を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
研究費	国産ワクチン等の実現に向けて、世界トップレベル研究開発拠点の形成やワクチン研究開発を実施するため、研究者、民間事業者等に委託するための経費	3,996	研究費	国産ワクチン等の実現に向けて、世界トップレベル研究開発拠点の形成やワクチン研究開発を実施するため、国立研究開発法人日本医療研究開発機構からの受託研究費	3,996	
事務経費	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業を実施するために必要な基金を運営するための事務経費(人件費、旅費、謝金等)	51				
計		4,047	計		3,996	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	-	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	1,624	随意契約(その他)	2	--	
2	国立大学法人大阪大学	4120905002554	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	503	随意契約(その他)	10	--	
3	国立大学法人東京大学	5010005007398	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	332	随意契約(その他)	2	--	
4	特定国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	328	随意契約(その他)	4	--	
5	国立大学法人京都大学	3130005005532	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	322	随意契約(その他)	4	--	
6	国立大学法人千葉大学	2040005001905	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	300	随意契約(その他)	10	--	
7	国立大学法人北海道大学	6430005004014	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	218	随意契約(その他)	10	--	
8	国立大学法人長崎大学	3310005001777	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	136	随意契約(その他)	10	--	
9	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	9120905002657	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	91	随意契約(その他)	2	--	
10	国立大学法人滋賀医科大学	9160005002166	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業の実施	89	随意契約(その他)	2	-	